

安倍晋三政権の行方と今秋の政局

「インサイドライン」編集長 歳川隆雄

- * G P I F改革が岩盤規制突破の試金石に
- * 完全に定着した政治主導の霞が関人事
- * 株価ボードがある総理執務室
- * 消費税率引き上げの決断は10月
- * 出来レースだった集団的自衛権の与党協議
- * 安全保障問題の二人のキーパーソン
- * 「怖い」権力者になった安倍総理
- * サミットでは安倍総理が見事なまとめ役に
- * 高揚感に水をさした国内事情
- * 9月に中規模の内閣改造か



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
今日は1年ぶりに歳川さんにおいていただきました。もうかれこれ14、15年、毎年ここで最新の政局のお話をしていたいております。

今回も国会が閉会した後のほうがよろしいだろうというお話で、そういうことになりました。安倍政権は高支持率が続いておりますけれども、この後の展開がどうなりますか。先ほど伺いましたら、内閣改造は8月から9月であろうというのですが、そのお話も今日は十分、皆さんにお聞かせできると思います。

それでは歳川さん、よろしく願いましたます。（拍手）

歳川 皆さんこんにちは。ちょうど1年ぶりのようでございます。先ほどちょっと話してお

りましたら、最近では毎年6月に声をかけていただいているようで、私にとってはアニアルミ1デーイング、あるいはアニアルレクチャーということになるかと思っております。

G P I F改革が岩盤規制突破の試金石に
いきなり手前みそですが、昨年6月に、何を皆さんにお話ししたか覚えておられる方はいるかもしれません。そのとき私は、G P I Fというお話をしているはずですが、当時の政治ジャーナリズムにおいてはほとんど使われないワーディングです。もちろん経済専門誌やその種のプロフェッショナルな方々にとっては決して真新しいワーディングではないのですが、われわれ永田町、霞が関をウオッチングする者にとって